

全薬会議・道修町 ニュース

2003年4月 創刊号

*** 「全薬会議・道修町」立上げのお知らせ ***



2003年2月1日、「森下仁丹・井筒さんの不当解雇撤回裁判を支援する会」の元有志が発起人となり、大阪の薬業関連労働者の個人が中心になって、「全薬会議」に加入する団体組織として「全薬会議・道修町」を立ち上げました。



§ 全薬会議ってなに？

国民の健康と生命を守る医薬品づくりをめざし、労働者の生活と権利をまもり、行政・業界・職場の民主化実現のために(規約)、薬業に働く労働者が企業の大小、組合や職場の違いなど様々な制約を乗り越え共闘組織として(第14回総会決定)、学習、調査、宣伝、要請及び支援等必要な行動を行なう(規約)、薬業に働く労働者の団体及び個人によって構成する(規約)団体です。

§ どんなことするの？

- 1) 宣伝活動を強化し、情報提供を行ないます(労働条件実態資料提供、「全薬会議ニュース」の発行、春闘・一時金統一ビラによる宣伝、組合機関紙による情報交換、情報の収集と解説など)
- 2) 学習会を開催します(ブロック単位の学習会など)
- 3) 組織拡大・強化をはかります(組織拡大活動、リーフレット「手をつなごう薬業の中間たち」、相談支援など)
- 4) 政策づくりを行ない、行政などに要請行動を行ないます(「政策提言」(99/10発行)具体化、薬業総行動、厚労省懇談会、製薬協など)



- 5) リストラ「合理化」に反対する闘いを進め、争議の全面支援を行います(日本ケミファ、日本チバガイギー、オリエックス、藤沢薬品など)
- 6) 労働条件を向上させるために実態調査を行ないます(賃金実態情報の収集、薬害アンケート、情報収集など)
- 7) 要求・課題、行動で一致する医療及び関連団体、地域との共闘・交流を進めます(国民医療研究所・社会薬学研究所「国民の医薬シンポジウム」への参画、薬害ヤコフ病連帯、民医連学習会など)

§ 全薬会議・道修町の当面の活動は？

- ①全薬会議主催の活動に参画・参加、協同します。
- ②全薬会議・道修町の会員相互の親睦と情報交換の為、職域別交流会や学習会を開催します。
- ③大阪のみならず、全国の薬業関連企業に働く仲間に声を掛け、全薬会議・道修町の会員を増やします。
- ④全薬会議・道修町の会員仙頭さん支援を進めます。

§ 当面のスケジュール・実績と予定

- ◇3月17日(月).....全薬会議春闘ビラまき
- ◇3月28日(金)-29日(土)・・・薬業総行動、総会
- ◇4月2日(水)10時～.....仙頭さん第7回弁論

「全薬会議・道修町」入会のお願い

医療制度改悪、グローバル化、業界再編成等、私達薬業関連企業で働く労働者にとって極めて厳しい情勢の中「国民の生命と健康を守り、薬業関連労働者の生活と権利を守る事を目的とした全薬会議」への加盟組織「全薬会議 道修町」を、多くの仲間の皆様のご協力で、このたび発足させる事が出来ました。企業の大小、労働組合の有無に関係なく全ての薬業関連企業で働く労働者を対象に、一人でも簡単に加入する「全薬会議 道修町」を大きく発展させる為にあなたのお力をお貸し下さい。

⇒⇒⇒ 同封の「入会申込み書」に必要事項を記入し、年会費 1000 円を添えお申し込みください。

3月17日、全薬会議・春闘ビラまきに参加しました!!

3月17日(月)朝、前夜から降り始めた雨も、全薬会議恒例の道修町界限と他所のビラ撒き開始時にはなんとか上がったものの、通勤途中の人は、片手は鞆、もう片手は傘、あるいは雨上がりの寒さのせいでポケットに入れたままの人が多く、最初のビラを受けとってもらう迄の長いこと長いこと(実は数分)、ん～、つらい! そんな減入りそうな私を尻目に淡々とビラ撒きをする全薬会議の、勿論人生の大先輩諸氏の様子に励まされ奮起一発、予定の9時迄、全薬会議ニュースをいっきに撒きました。

悪条件ながら序々にペースも上がり、全薬会議ニュースへの関心が、少しずつながら上がってきていると実感しました。比較的関心の高いのは中高年(失礼ながらそうお見受けした)女性で、わざわざ人

波をかきわけて取りに来てくれる方も何名かおられ、これにも励まされました。

残念なのは、20・30・40代らしき男性や

若い女性の関心は低いようで、当日の悪条件のせいだけではなく、日々の生活にも疲れ果てているんだろうと思えた。休み明けの朝からこの様子では週末まで大変だなと、心配にもなりました。だからこそ、全薬会議の活動・ビラ、存在そのものが、励まし・支えにならなければならないと感じた3月17日朝のひとつでした。



(H. M 記)

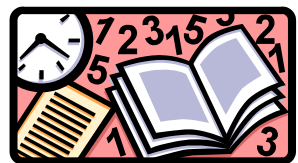
仙頭さんの“男女差別裁判”にご支援を!!

「藤沢薬品・仙頭さん男女差別裁判」とは。。

仙頭さんは、入社して29年になりますが、営業職で男性と全く同じ職務内容のときですら、処遇が改善される事はなく、主任待遇になるのに13年もの差がつきました。これは、何も仙頭さんだけの問題ではありません。藤沢薬品では、職群制導入直前の'97年時点で、経営職の数は、男性の2020名に対し女性は10名(たった0.5%)でした。

このような現実があっても会社は男女の昇給・昇格差別を認めようとせず、その後も「職群制」の名の

下で、男女格差を温存し、既存の格差をさらに広げてそれを固定化しようとしています。



仙頭さんは、社内での改善努力に限界を感じ、第三者に公正な判断を仰ごうと、昨年の2002年3月27日に男女差別賃金是正の裁判提訴に踏み切ったものです。「男女共同参画社会」を現実のものにするためにも、是非仙頭さんの裁判にご支援をお願い致します。

⇒裁判の傍聴に御協力ください。⇒ 次回:4月2日(水) 10時～ 大阪地裁809号法廷

⇒「仙頭さんを支援する会」のホームページをご覧ください。http://www003.upp.so-net.ne.jp/sentou/

-*-*- 《 お知らせとお願い 》 -*-*-

◆ 2003年春闘、労働条件などの実態調査アンケートを、5月下旬に予定しています。



- 1) 賃金実態や労働条件など、今からの情報収集への取り組みをお願いします。
- 2) 「となりの会社は〇〇はどんなだろう」など、知りたい調査項目がありましたらお寄せください。

全国薬業労働者連絡会議(全薬会議)・道修町

連絡先:大阪市淀川区西宮原町2-6-64 日本シェーリング労組内 全薬会議大阪ブロック気付

TEL:06-6392-5690 FAX:06-6392-5691